

大学発ベンチャーとカーブアウト



DBJ

日本政策投資銀行 九州支店長

大熊 毅

2005年1月21日

プロフィール

大熊 毅（おおくま たけし）
日本政策投資銀行九州支店長

52歳、茨城県出身。
慶應義塾大学商学部卒業。

昭和50年に日本開発銀行入行後、ロンドンビジネススクール留学、公正取引委員会出向などを経験。

銀行では主に地域開発、都市開発分野を担当し、平成16年6月より現職。九州勤務は3度目。高千穂大学大学院非常勤講師を兼任。



1. 「大学発ベンチャー」への期待

戦略（ビジョン、志向性）的観点から

キャッチアップ時代からフロントランナー時代への移行

知（知識、知価） 先端科学・技術 [重点分野： ライフサイエンス、
情報通信（IT）、 環境、 ナノテク・材料] を活用した（ラディカル・）イノベーションが必要。

地域の自立的発展

地域の知の拠点が必要。

先行する欧米
急追するアジア等

大学改革

法人化（自立・自律化）

戦術（効率性）的観点から

産学官連携 研究開発資源の有効活用

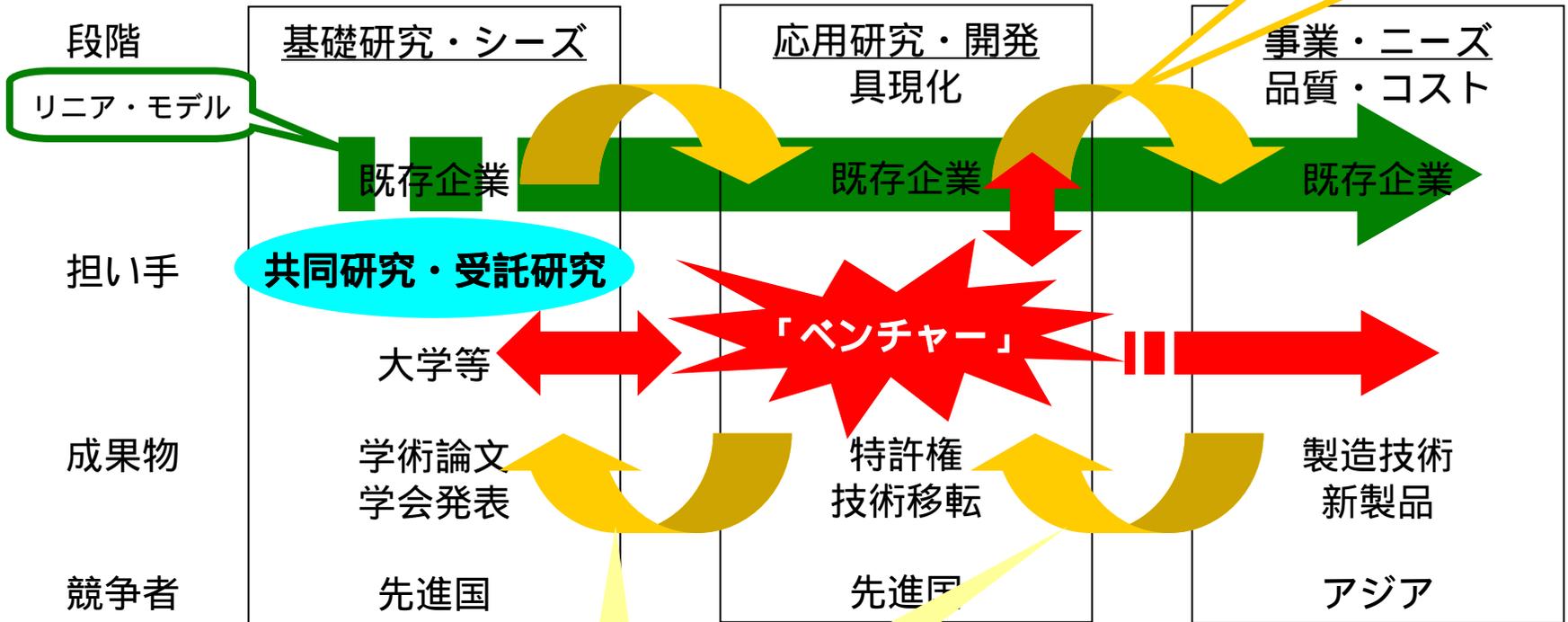
大学は知の創造拠点 [国全体の1/3（26万人）の研究者、1/5（3.2兆円）の研究費が投入されている]

大学、「大学発ベンチャー」への期待

2. 「大学発ベンチャー」によるイノベーション・モデル

共同研究等に加え、大学等高等研究機関の研究成果（シーズ）の活用を図る「大学発ベンチャー」により、ハイリスクのラディカル・イノベーションに自律的、機動的に取り組むのが今後の一つのモデル。

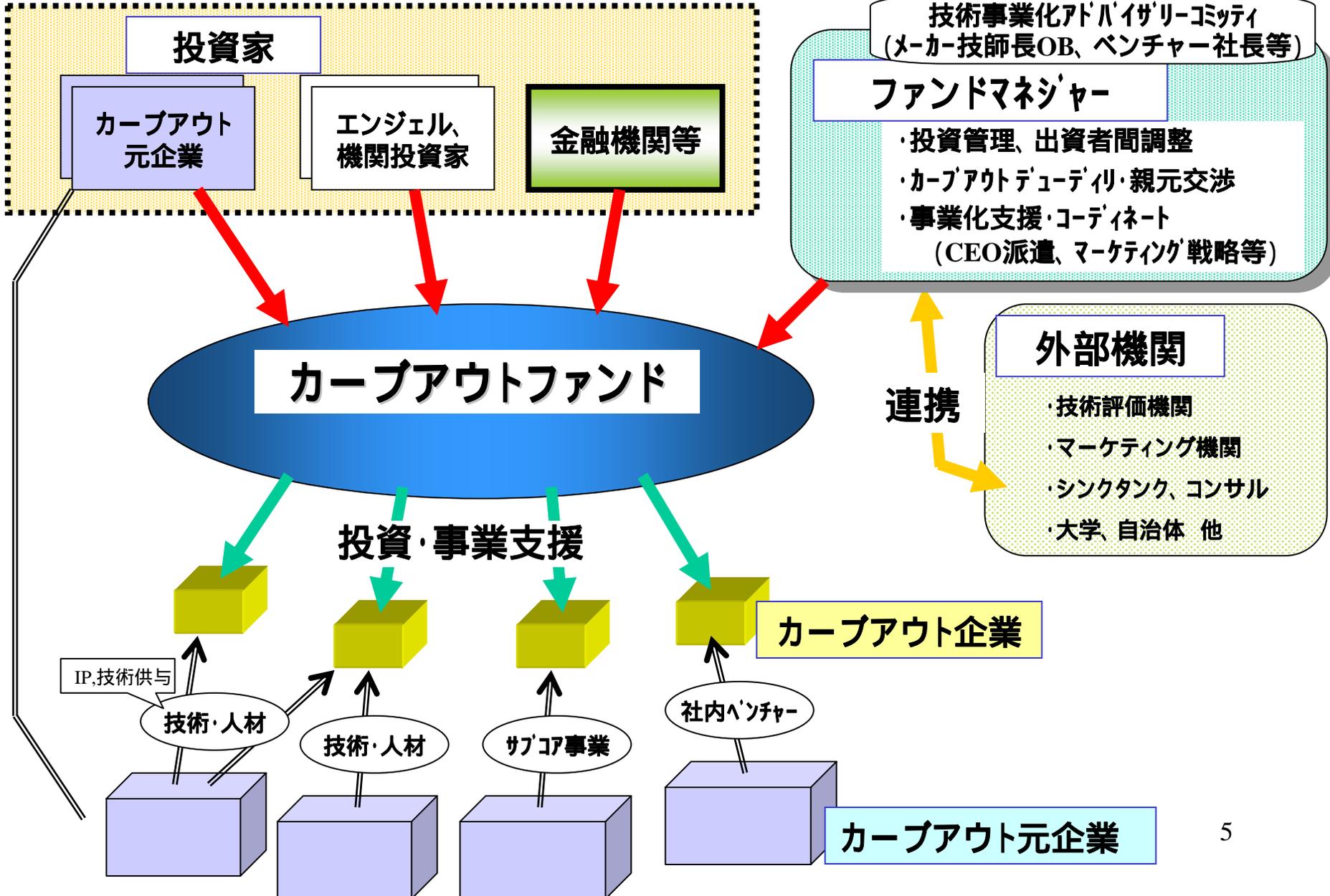
スパイラル・モデル
 チェインリンクト・モデル
 コンカレント・モデル
 アブダクション・モデル
 インタラクティブ・モデル



(参考：小樽商科大学瀬戸助教授作成資料)

目的 課題 仮説 検証 軌道修正 … 課題解決 目的達成
 (計画・プラン)

3. 「カーブアウト」への期待



4. アイデアからビジネス・コンセプトへ

技術、商品（製品・サービス）について...



技術

画像処理

（使い易さ）

（高品質）



商品

画像処理ソフト

年賀状作成ソフト

超鮮明ゲームソフト

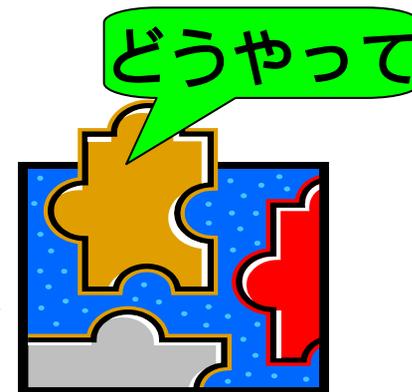


市場

個人・会社

個人

ゲームソフト
会社



システム

特になし

宛名書ソフトと
連携

ブランド化

5.ベンチャー支援のための金融モデル

